

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和3年度】

2022年 3月 23日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 176-0001

所在地 練馬区練馬1-20-2

評価機関名 株式会社日本生活介護

認証評価機関番号

機構 02 - 015

電話番号 03-3991-8440

代表者氏名 佐藤 義夫

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	堀 洋子	福祉	H0701024
	②	齋藤 貴明	経営	H1102028
	③	岩波 よし子	福祉	H1801054
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	港区青南保育室			
事業所連絡先	〒	107-0062		
	所在地	東京都港区南青山4-19-18		
	TEL	03-5770-3933		
事業所代表者氏名	園長 坂本 祐里			
契約日	2021年 6月 30日			
利用者調査票配付日(実施日)	2021年 8月 24日			
利用者調査結果報告日	2021年 11月 12日			
自己評価の調査票配付日	2021年 8月 24日			
自己評価結果報告日	2021年 11月 12日			
訪問調査日	2021年 11月 22日			
評価合議日	2021年 11月 22日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	利用者(保護者対象)調査は、アンケート用紙と第三者評価の目的や主旨、問い合わせ等を説明した文書をつけて、事業所から手渡して配布をした。記入後は返信用封筒に入れ、評価機関へ直接郵送してもらった。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。

本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

年 月 日

事業者代表者氏名

印

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1)子ども一人ひとりの心に寄り添い、生きるよろこびと生きる力を育む。 2)常に子ども目線で考える保育を行う。 3)保護者の楽しくも大変な子育ての負担を理解し、「ホッ」とできる空間とサービスを提供する。 4)社員がチームアソシエとして一人ひとりが力を発揮し、いきいきと働きつけられる環境をみんなでつくる。 5)感謝の気持ちを持って地域の方たちとのつながりを大切に、共に育ち合う。</p>
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>①チームとして「おかげさま」「おたがいさま」の気持ちをもつ。 ②自ら考え、実行し責任をもって業務に取り組む。 ③技術や知識を習得し、人間としての成長に向けて努力する。 以上を心がけ、子育て支援に務める。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>①相手の幸せを願う利他の精神を持って行動する。 ②子育ての負担を理解し、ホッとできる空間とサービスを提供する。</p>

調査対象

全園児世帯の保護者を対象とした。
複数の在園児がいる場合は、最年少の子どもに対しての回答をお願いした。

調査方法

アンケート方式
園から調査票を配付してもらい、記入後は返信用封筒に入れ、評価機関へ直接郵送してもらった。

利用者総数

115

利用者家族総数(世帯)

96

共通評価項目による調査対象者数

96

共通評価項目による調査の有効回答者数

62

利用者家族総数に対する回答者割合(%)

64.6

利用者調査全体のコメント

調査対象96名のうち、62名から回答を得ることができた。満足度の高い項目として、「保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っていますか」「病気やけがをした際の職員の対応は信頼できますか」「保育所での活動は、子どもが興味関心を持って行えるようになっていきますか」などがあげられる。
総合的な満足度では、56名が「大変満足、満足」、2名が「どちらともいえない」、3名が「不満」と回答している。
「配慮しながらできるだけ行事などをしてきて安心して安心です」「先生の子どもに対する接し方が素晴らしく、安心して預けています」「子どもが楽しそうに登園しています」「家では行き届かない教育をしてきてありがたいです」「何かあると小さなことでも報告してくれます」「スポーツ、イングリッシュやミュージックなどいろいろなことを取り入れてきてくれて大変満足です」「行事を工夫して行ったり、SDGsをテーマに学習を深めたりと新しい挑戦をしてくれます」「子どもの反応や要望に対し、親身になってくれます」「園庭などで走り回れるような時間を増やしてほしいです」などのコメントがあがっている。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	58	3	1	0
58名が「はい」、3名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「異年齢交流なども行ってほしい、役立っていると思います」「感触遊びや手指を使った遊びが発達に影響していると思います」「さまざまなプログラムを考えてくれて、いろいろなことを覚えて帰ってきます」「どんどん話したり、歌えたりしています」などのコメントがあがっている。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっていくか	55	6	1	0
55名が「はい」、6名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「SDGsの取り組みなど、大切なことにも興味を持てるようになってきて感謝しています」「スポーツ、イングリッシュやミュージックの活動など、とても楽しいようです」「毎日楽しいようで、園での活動を楽しそうに話してくれます」「体を動かす活動を増やしてほしいです」などのコメントが複数あがっている。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	55	6	1	0
55名が「はい」、6名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「栄養バランスのとれた給食で助かっています」「おやつも手作りが多く大変ありがたいです」「イベント時のかわいいご飯にも大満足です」「園庭で野菜が作りをしていて、良い食育をしてもらっています」などのコメントが複数あがっている。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	38	19	5	0
38名が「はい」、19名が「どちらともいえない」、5名が「いいえ」と回答している。 「緑も多いですし、小学生との交流もあります」「コロナ禍ですが、工夫し楽しく虫を育てたりしています」「園庭も十分にあり、公園にも連れて行ってもらえて感謝しています」「コロナ対策のうえ、夏祭りや運動会、水遊びなど行ってもらい感謝しています」「コロナ禍のため、行事や外の活動は少ないと思います」などのコメントがあがっている。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	48	2	1	11
48名が「はい」、2名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「いつも柔軟に対応してもらい助かっています」「時間の前後も快く対応してもらっています」などのコメントがあがっている。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	46	11	4	1
46名が「はい」、11名が「どちらともいえない」、4名が「いいえ」と回答している。 「定期的な訓練等もしっかりしており安心してます」「引き取り訓練など行っています」などのコメントがあがっている。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	51	6	0	5
51名が「はい」、6名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」の回答は見られなかった。 「年度初めに年間計画書を配布してくれるので、予定が立てやすく配慮されていると思います」「夕方や土日に設定してくれるのでありがたいです」などのコメントがあがっている。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	51	8	1	2
51名が「はい」、8名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「担任の先生以外にも声掛けしてもらえて、誰にでも相談しやすく安心できます」「子どもの様子をいつもこまかく見てもらっています」「園での様子を詳しく教えてください」などのコメントが複数あがっている。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	55	4	2	1
55名が「はい」、4名が「どちらともいえない」、2名が「いいえ」と回答している。 「いつも丁寧に掃除をしてくれています」「掲示物等も整理されてきれいな空間です」などのコメントがあがっている。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	54	5	2	1
54名が「はい」、5名が「どちらともいえない」、2名が「いいえ」と回答している。 「皆さん感じが良く、子どもも懐いています」「先生方はきちんとされています」「人によります」などのコメントがあがっている。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	57	3	0	2
57名が「はい」、3名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答は見られなかった。 「些細なことも気付いてくれて、連絡をくれます」「体調が心配な時は、こまめに熱を測って連絡してくれました」「先生同士で情報共有されているので、どの先生に伝えても大丈夫です」などのコメントがあがっている。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	42	10	0	10
42名が「はい」、10名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答は見られなかった。 「適切に説明してくれて、子どもの気持ちをしっかり考えてくれます」「年長になると、ある程度子どもに任せてくれます」「子ども同士のいさかきがあった際、適切に公平に対処していました」などのコメントがあがっている。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	53	7	0	2
53名が「はい」、7名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答は見られなかった。 「子どもの気持ちに寄り添ってくれます」「年齢に応じて必要な対応をしてくれます」などのコメントがあがっている。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	53	5	1	3
53名が「はい」、5名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「守ってくれて安心できます」「わかりません」などのコメントがあがっている。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	47	11	3	1
47名が「はい」、11名が「どちらともいえない」、3名が「いいえ」と回答している。 「園内の掲示物やおたより等で確認できます」「一日の出来事をもう少し書いてもらいたいです」などのコメントがあがっている。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	46	9	0	7
46名が「はい」、9名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答は見られなかった。 「不安なことなど、小さなことでも対応してくれます」「不満はないですが、もし伝えたら対応してくれると思います」などのコメントがあがっている。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	22	15	12	13
22名が「はい」、15名が「どちらともいえない」、12名が「いいえ」と回答している。 「そのような相談をしたことがないのでわかりません」「初めて知りました」などのコメントがあがっている。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <input type="radio"/>非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝える <input type="radio"/>非該当
	カテゴリ1の講評	
	クレドを作成して職員の理解を深めており、園目標や方針も周知を図っている 園の運営会社でクレドを作成している。「私は相手の幸せを願う利他の精神をもって行動します」「私はスマイル&コミュニケーションのを大切にします」など、会社が求める職員の行動が具体的に記されており、カードにして職員がいつでも携帯して確認できるようにしている。人事考課時にもクレドについて振り返りを行っている。年度初めの職員会議では、園長から年度の目標や方針を職員に伝えている。今年度は「子ども一人ひとりの個性を大切に、常に子ども目線で考える保育を行う」などの目標を立てており、事務室内に掲示して周知を図っている。 保護者に入園のしおりを配布し、保護者会や個人面談でも重要事項を伝えている 保護者に配布している「入園のしおり」にて、基本理念・基本方針・保育目標を示している。しおりでは、園の利用上のルール、緊急時・非常災害時対応などの項目についても説明している。年2回開催している保護者会においても保護者に重要事項を伝えている。コロナ禍以前には懇談会も実施していたが現在は自粛している。その代わりに、園での子どもの様子を動画にして紹介をしている。個人面談も年2回(1回目は全員、2回目は希望者のみ)設定しており、必要な事項を伝えている。随時、おたよりや掲示による情報提供も行っている。 重要な案件について検討・決定する仕組みがあり、アドバイスを受けることもできる 園における重要な案件は、園長と主任が中心となって検討・決定している。会社で実施する園長会議もあり、様々な相談ができるほか、定期的に園を訪問しているスーパーバイザーによるアドバイスもある。園のリーダーミーティングでは、シフトや仕事の進め方等を検討している。決定事項については毎月の職員会議や日々の昼ミーティングにおいて職員に周知を図っている。昼ミーティングには各クラスから代表の職員が参加し、クラスの状況確認や情報共有などを行っている。ミーティングの内容は参加した職員が各クラスで報告するほか、記録を作成している。	

2 カテゴリー2		
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリー2の講評		
<p>アンケートや個別面談で保護者の意向を把握し、職員の意見や要望も汲み取っている</p> <p>保護者が参加する行事の後に保護者アンケートを実施している。コロナ禍のため、今年度は多くの行事を子どものみで実施しているが、作品展には保護者が参加できている。アンケート結果からは、保護者に好評であったことが分かる。また、個別面談も実施して、保護者の個別の意向について把握に努めている。職員の意向については人事考課面談において個別に聞き取っているほか、日常のやり取りの中で園長、主任やリーダーが汲み取っている。職員から上がった意見や要望についてはリーダーミーティングなどで検討し、園の運営や保育内容に反映している。</p> <p>区からの情報を収集しているほか、園長会を通じて情報交換をしている</p> <p>地区の運営会議に参加し、区からの情報を収集している。区からの情報の中で、保護者に周知する内容に関しては園内掲示で知らせている。コロナ禍以前には、地域の小学校、幼稚園、学童クラブとの定期的な交流もあり、地域の子育てに関する情報収集の機会となっていたが、現在は自粛している。区の園長会にも参加して、保育や地域の子育てなどに関する情報交換をしている。運営会社の園長会にも参加しており、園の運営状況については毎月の予算実績管理表により把握をしている。園での小口管理を徹底して、無駄なコストが発生しないように努めている。</p> <p>事業計画に沿って職員間の役割分担を定め、振り返りをして次年度につなげている</p> <p>年間の園目標や事業計画を作成し、保育内容、年間行事、保護者支援、給食や健康管理などの項目について実施事項を具体的に示している。計画を着実に実施するために係や行事担当などの職員間の役割分担を定めている。年度の終わりには職員各自およびクラスごとに振り返りシートを作成している。クレドについて、子ども、保護者、地域・社会などの項目を立てて、5段階で取り組み状況の評価するとともに、今年度導入した取り組みやクラス目標について振り返り、次年度の園運営や保育につなげている。年間の予算計画や残業計画も作成されている。</p>		

3 経営における社会的責任			カテゴリー3
サブカテゴリー1(3-1)			
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。		○非該当
サブカテゴリー2(3-2)			
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある		○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している		○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		○非該当
サブカテゴリー3(3-3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している		○非該当

評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-3の講評		
<p>職員が守るべき事項を明示して、新入職員にはOJTも実施している</p> <p>職員が守るべき事項については、就業規則、クレド、個人情報保護規程などに記載している。入社時に研修を行い、これらの事項について職員に説明をしている。クレドについては職員会議で読み合わせをしているほか、年度末に職員各自が振り返る機会を設けている。また、必要に応じて研修や説明の機会を設けて、職員の理解が深まるようにしている。新入職員に対してはチューターによるOJTを実施しており、子どもとの関わり方や保育士としての姿勢についてチューターや主任がチェックをして、必要に応じて指導やアドバイスをしている。</p> <p>苦情解決の仕組みを整えており、虐待防止にも努めている</p> <p>苦情解決の仕組みを整え、入園のしおりに記載するほか、入園時の面談でも説明をしている。苦情対応マニュアルを作成し、苦情が寄せられた場合には適切にできるようにしている。区の虐待防止研修を職員が受講しており、受講後には研修報告書を提出してもらい、職員間で共有を図っている。入社時に人権擁護のための職員セルフチェックを実施して、不適切な保育をすることがないように職員各自が振り返っている。家庭での虐待などが疑われるケースについては、子ども家庭支援センターとの連携を強化して、適切な対応ができるように努めている。</p> <p>見学希望者を受け入れており、園の取り組みや活動内容を紹介している</p> <p>希望者の見学を受け入れており、園の取り組みや一日の流れなどを説明している。育児に関する相談や質問に対しても対応している。保護者向けには日々の活動内容を記録したドキュメンテーションを玄関に掲示し、閲覧できるようにしている。ボランティアについても受け入れ態勢を整えており、受け入れる際にはオリエンテーションを実施して注意事項などを説明することになっている。区の支所運営会議を通じて地域交流や地域貢献の取り組みへの参加する機会がある。地域の清掃活動などについての参加を検討している。</p>		
カテゴリ-4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ-1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況
		5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ4の講評		
<p>ヒヤリハット集計や安全チェックリストに基づく点検など、安全確保・向上に努めている</p> <p>安全管理委員会を設置し「事故やヒヤリハットを正確に記録し、職員で情報共有・振り返りを行うことで、子どもたちが安全に過ごせるより良い環境をつくる」などの目的・ねらいを掲げている。ヒヤリハット報告はクラスごとに月間集計を作成し、気づきや注意事項を記入している。安全チェックリストに基づく園内点検も毎月実施し、子どもが遊んでいる遊具や周りの子どもの安全確保など36項目にわたって確認している。事故が発生した場合には、その日のうちにクラスミーティングで園長を中心に要因分析と再発防止策を検討し、再発防止に努めている。</p> <p>安全確保に関する各種マニュアルを整備し、保護者が参加する研修も実施している</p> <p>安全管理マニュアルや災害マニュアルなど各種のマニュアルを整備している。地震や火災を想定した避難訓練や、地域の警察署の協力を得ての不審者対応訓練などを毎月実施している。嘔吐処理手順など、その他の安全確保に関する文書も整備している。看護師が中心となって安全管理研修も実施しており、災害時の緊急対応、熱性けいれん、食物アレルギーなどのテーマを取り上げている。人形を使った心肺蘇生法の研修は、保護者向けにも実施しており、「役に立った」といった声が寄せられている。</p> <p>個人情報保護の徹底や情報漏洩対策などについて文書で明示している</p> <p>職員の入社時研修で個人情報保護について説明し、職員から誓約書を提出してもらっている。保護者には入園時面談の際に説明をし、個人情報の使用に関する同意を得ている。「個人情報セキュリティに関して」という文書で、個人情報の管理や、USBなどの情報媒体の管理、電話対応時の注意点、情報漏洩対策などを示している。電子データの個人情報保護対策として、パソコンへのパスワード設定、USBの使用禁止など徹底を図っている。紙文書の個人情報はキャビネットで施錠の上、保管しており、使用する際には園長の承諾を得るようにしている。</p>		
カテゴリ5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
		3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー5の講評		
<p>等級別人事考課基準を策定し、昇進・昇格のためのキャリアパスを明確にしている</p> <p>職員に示すキャリアパスとして、「等級別人事考課基準」を策定している。同基準では5段階の等級を設定し、「社会人基礎力」(規律性、協調性など4項目)と「専門性の力」(子ども理解・子どもとの関わり、計画と実践など4項目)の、合わせて8項目の観点から、等級ごとに求められる到達目標を具体的に列挙している。年に2回、職員面談を行い、同基準から見た現状の水準を確認するとともに、自分の目指す姿、目標を記載してもらっている。こうした取り組みにより、職員が目標に向かってモチベーションを維持向上できるようにしている。</p>		
<p>人事考課の基準を明確にして、公平な評価を行えるように努めている</p> <p>人事考課表は、個別シートと別添シートの2種類を策定している。個別シートでは、評価ポイントごとに4段階で自己評価したものに、さらに管理者が評価をして合計得点を算出している。さらに、到達目標、その目標を達成するための具体的な取り組み、振り返りなどを記入している。別添シートでは、運営会社が定める「クレド」24項目について5段階で自己評価を行ってもらい、この2種類のシートをもとに職員との面談を行っている。人事考課の観点、ポイント、評価方法を明確にして、公平な評価を行えるよう努めている。</p>		
<p>園内研修と外部研修とを組み合わせ、充実した研修体系を構築している</p> <p>研修体系は、園内研修と外部研修等を組み合わせ構築している。園内研修は、全員が参加できるように2回開催するなどの工夫を講じている。外部研修は、受講案内を周知して参加希望を募るだけでなく、個々の職員にとってふさわしい研修があれば、受講を働きかけている。園内研修、外部研修とも、受講後は報告書の提出を求め、今後の仕事への活かし方を確認してもらっている。また、外部研修の内容を職員会議で発表してもらい、配布資料を全体で回覧するなどにより、研修内容・成果を全職員で共有できるようにしている。</p>		

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

【課題】

子ども一人ひとりの個性を大切に、常に子ども目線で考える保育を行う。また、その実践としての保育の取り組みを園全体で共有し、保護者にもわかりやすく伝える。また、職員間のコミュニケーションを充実させることで、園と保護者との信頼関係の向上に活かす。

【取り組み】

- ・保護者会にて、「5領域」「10の姿」について説明をする機会を設けた。
- ・園だよりやクラスだよりにて行事や保育のねらいや取り組みの過程を記載するようにした。
- ・日々の保育の中で見られた子どもの姿を可視化するためにドキュメンテーションの取り組みを行った。前年度は10月より各クラスごとに月1回以上のペースで作成し、掲示を通して保護者に共有した。
- ・作成したドキュメンテーションを通して、クラスミーティングや乳児・幼児会議等で保育の振り返りを実施し、職員間で保育の反省含め子どもの育ちを共有するようにした。
- ・昼ミーティングでその日の子どもの様子等共有するようにしているが、昼ミーティング記録とは別に各クラスごとにノートを用意し、昼ミーティングに参加した職員が記録し、クラスの職員や休んでいる職員にも内容をしっかりと周知できるようにした。

目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

【取り組みの結果】

- ・ドキュメンテーションをクラス入口に掲示したり、玄関に過去のファイルを設置することで、保護者がいつでも見れるようにした。それにより、親子の会話が活発になったり、保護者と保育士とのコミュニケーションにつながった。また、ドキュメンテーションを使っでの保育の振り返りを行ったことで、職員各自の保育に対する思いや考えを知る機会となっている。
- ・昼ミーティングの記録をとることで、日々の保育における引継ぎや報告も充実している。

【取り組み結果の検証と今後の方向性】

- ・今年度最初の保護者会で、「5領域」「10の姿」などを口頭だけでなく、資料を用意し主任から説明したことで、親しみを持ってもらえるようになってきた。
- ・ドキュメンテーションは、今年度は週1回以上のペースでの作成を続けている。専門講師を招いて研修会も実施している。ドキュメンテーションを保育の振り返りに活用し、保育の質の向上はもちろん、保育を楽しむことにつなげていくことが今後の目標である。

目標設定→具体的な取り組みの実施→取り組み結果の検証→次年度の取り組みに反映する、という一連のプロセスが履行されている。

<p>評価項目2 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)</p>	
<p>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</p>	
<p>【課題】 新型コロナウイルス感染症含め有事に備え、リスクマネジメントに対する強化を行う。</p>	
<p>【取り組み】 ・看護師より、その時々現状に合わせながら新型コロナウイルス感染症についての情報を、知識として職員に伝えたり、園内及び玩具等の定期的な消毒を徹底した。また、4月～6月までの緊急事態宣言中は登園自粛を依頼し、登降園時の子どもの受け渡しは玄関で行った。緊急事態宣言解除後は利用者が増えたこともあり、園庭に受付を設けるなどして密にならないよう玄関での受け渡しを引き続き行った。緊急事態宣言中は、登園する子どもの人数に合わせて、職員の自宅待機日を設けて分散出勤を実施するとともに、職員の体調管理として日々の検温を行い、体調に異常がある場合は休みがとれるようシフトの調整を行った。 ・火災や地震、不審者対応に関する避難訓練を毎月1回以上実施し、振り返りを行い、緊急時に対する職員の動きの見直しを都度行うようにした。</p>	
<p>目標の設定と取り組み</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</p>	
<p>【取り組みの結果】 ・新型コロナウイルス感染症に対しては、区や会社からの指示を仰ぎながら取り組んだ。看護師による情報の共有は、職員が現場で不安を感じすぎることなく働く上でとても有効であった。新型コロナウイルス感染症に限らず、日頃の施設内や玩具等の消毒、職員自身の体調管理において、これまで以上に意識が高まり、徹底されるようになった。 ・火災や地震、不審者対応に関する避難訓練については、振り返りから見直しを行うよう徹底した。特に、2階からの乳児の避難においては、子どもが安全に避難できる流れを職員間で確認し合いながら共有できた。</p>	
<p>【取り組み結果の検証と今後の方向性】 ・管轄の支所及び保健所と速やかに連携がとれるようにする。 ・災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、本社及び区と引き続き連携していく。</p>	
<p>目標設定→具体的な取り組みの実施→取り組み結果の検証→次年度の取り組みに反映する、という一連のプロセスが履行されている。</p>	

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目		
サブカテゴリー1			
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリー1の講評			
<p>保育室のホームページでは、保育の目標やプログラムについて情報提供している 当該保育室のホームページは運営会社の本部が作成し、ブログも同時に発信をしている。保育目標、会社のこころざしや約束を掲載して、会社が目指しているものを公開している。保育室の開園時間や定員のほかに、特色として選任講師が指導しているスポーツ、ミュージック、イングリッシュ、アートのプログラムについても情報提供している。関心のある保護者の興味を引く内容になっている。</p> <p>保育室で作成される印刷物は写真、イラストを載せてわかりやすいものになっている 保育室では、リーフレットと入園のしおりを作成している。リーフレットはA4判三つ折りで、気軽に手にとれるサイズになっている。保育目標、1日の流れ、園舎施設、行事等盛りだくさんの情報がイラストとともに記載されており、保育室の内容がよく分かるものになっている。また、入園が決まった保護者に配布している入園のしおりでは、持ち物、かばん、避難靴などの見本写真を掲載したり、登降園時におこなうICカードの打刻方法を写真入りの説明でわかりやすく伝える等、できるだけ多くの方が理解できるように工夫し、作成されている。</p> <p>月4回保育室の見学日を設けて、可能な範囲で見学者の希望に沿うようにしている 保育室見学日を基本的に毎週水曜日、月4回設定している。新型コロナウイルス感染症予防のために1回5組まで、一家族1名に限定して実施している。父母で見学を希望することも多いが、感染症対策のために理解を得て実施している。子どもの活動がよくわかる10時半から概ね30分程度、園長、または主任が案内している。案内しながら質問に答えているが、見学後にも時間を設けて保育室を理解してもらうように努めている。保護者の関心事として、遊び、園庭の広さ、散歩コースなどが多くなっている。</p>			

		サブカテゴリ-2	
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>			
評価		標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>			
評価		標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2の講評			
<p>入園決定後に個別面談を実施して、入園のしおりをもとに説明をし同意を得ている</p> <p>区から入園通知が来ると保育室では順次、入園前個別面談を行っている。入園のしおりをもとに、子どもと一緒に1時間程度の面接を園長、担当保育士、看護師、栄養士が行っている。最初は園長から重要事項説明書で保育サービス、個人情報保護方針等について説明をし同意を得ている。その後、担当保育士と面談をして保育に必要な持ち物や慣れ保育等について伝えている。健康面については看護師と、アレルギーや離乳食の進捗状況等については栄養士と面談をしている。担当保育士は子どもが過ごす保育室も案内し、安心して登園できるように配慮している。</p> <p>保護者が記入した児童票を確認しながらチェックシートを作成し、受け入れに備えている</p> <p>園長、保育士、看護師は、面接時に保護者から園に対する質問を受けるとともに、保護者の育児に関する考え等を聞いて記録をしている。また、保護者が事前に記入してきた児童票を確認しながら、入園面接チェックシートと入園児面談健康記録に聞き取った情報を記録している。これらの情報は職員全体で共有して、入園受け入れ準備に活かしている。クラスごとに担当制保育をしているが、職員全員が関わりながら保育をしており、職員は新たに入園してくる子ども一人ひとりの状況を把握し、安全に過ごすことができるようにしている。</p> <p>子どもの不安やストレス軽減のために予定表を作成し、慣れ保育を実施している</p> <p>子どもが環境変化に慣れ、無理なく保育室の生活に順応できるように予定表を作成して慣れ保育期間を設けている。2週間をめどに、少しずつ保育時間を延長しながら子どもの様子を観察し、安心して預けられるようにしている。安全面に留意をし、保護者とコミュニケーションを取りながら、主任も入って日々慣れ保育をおこなっている。最初は午前中、その後昼食まで、それができたら午睡までというように、段階的に延長をしている。水分摂取ができるか、食事は食べているか、午睡はできているか等、子どもの様子を見ながら通常保育に移行している。</p>			

サブカテゴリ-3		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	12/12
3	個別状況の記録と計画策定		
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当	
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当	
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当	
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当	
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載する仕組みがある	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当	
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当	
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当	
サブカテゴリ-3の講評			
入園直後は子どもの様子を保護者と丁寧に情報交換し、ニーズの把握に努めている 連絡帳の交換以外に、入園直後は送迎時に保護者と子どもの様子をお互いに口頭で情報交換をして、日々の状況を把握するように努めている。日常生活のこと、遊びのこと、親子関係など、家庭での様子を聞き、園からは遊びの中での成長や自分のできたこと、保育士からの働きかけへの反応などを伝え合っている。子どものニーズ、様々な場面で見える課題などを保育士は把握し、保護者から得た家庭での様子も参考にしてアセスメントに反映させている。園と家庭との連続性を重視して、子どもが安定的に過ごせるように保育をしている。			
全体的な計画から指導計画を作成してクラスごとに月案、週案につないでいる 新年度を迎えるにあたって全体的な計画を作成し保護者に渡している。それをもとに年間指導計画を作成して、クラスごとに子どもの発達に合わせて月案を作成している。乳児クラスでは子どもの状況や発達に合わせて個別指導計画を立て、保護者会や日々の保護者とのやり取りなどから子どもの状況や変化を把握し、見直しを行っている。週案は週ごとに子どもの発達や成長を見ながら作成して、週の予定として遊びを玄関に掲示している。その結果を週に1度はドキュメンテーションにして、遊びの様子とねらいや振り返りを写真と文章で作成して掲示している。			
保護者との日々のやり取りや個別面談から家庭環境や子どもの状況を把握・記録している 乳児クラスでは連絡帳の複写が個人記録になっている。保育のねらいに対する子どもの様子は、保育日誌に毎日記録している。幼児クラスでも個別の記録が必要な場合は、個別指導案や発達経過記録に特記事項として記録している。特別に配慮が必要な子どもに関しては特別支援児保育日誌に毎日記録し、巡回時に情報提供をしている。クラスミーティングで日常的な情報共有をしており、毎日の屋のミーティングで全職員が共有している。看護師や栄養士等、子どもの保育に関わる全職員が参加する職員会議でも子どもの状況が共有されている。			

サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-5の講評			
<p>入園前、個別面談時に個人情報について保護者に説明をして同意を得ている</p> <p>入園前個別面談の際に個人情報保護についても説明をしている。「個人情報保護に関する事項」という文書では、個人情報を使用する事例(ロッカーや連絡帳など)を示すとともに、写真撮影に関する禁止事項を明記する等、区の個人情報保護条例に基づいた説明を行っている。保護者は園長から説明を受けた後に同意書に署名をしている。年度末に再度写真撮影に関する決まりごとに保護者全員が同意をした後に、園での子どもの写真データを配布している。個人のホームページやブログ、SNS等での使用を禁止し、写真の扱いには十分注意を求めている。</p> <p>乳児期より羞恥心に配慮をした保育をしている</p> <p>保育士は乳児期よりおむつ交換や着替えの場所を人から見えないうちに設定して、羞恥心に配慮して保育をおこなっている。着替えの際は全身裸にならないようにして、上と下の服は別々に着替える習慣をつけている。着替えの場所も外から見えないところであること、男女は別の場所で着替える等、幼児期には言葉で伝え、実施している。また、5歳児になると看護師からプライベートゾーンの話をしてもらい、大切にしなければならぬことを分かりやすく伝えている。全国保育士会で作成した「人権擁護のためのセルフチェックリスト」で振り返りを行っている。</p> <p>虐待防止のための外部研修を職員が順次受講しており、意識向上に努めている</p> <p>虐待防止に関しては会社作成の「虐待防止マニュアル」と、区が作成した「児童虐待マニュアル」を活用している。虐待防止への職員の意識向上に努めており、児童相談所等、行政から虐待に関する研修案内を受けて、その都度職員が参加をして理解を深めている。外部研修を受けることで、園以外の場所で子どもが虐待を受けていないか、些細な兆候も見逃さないように意識を高めている。子どもへの接し方や声掛けにも留意するなど、子どもとの適切な関わり方に配慮している。</p>			

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
6 事業所業務の標準化			
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当	
サブカテゴリ-6の講評			
<p>会社が作成した「保育の考え方」を教科書に職員研修を行っている</p> <p>看護師マニュアル、給食マニュアルなどの業務マニュアルの他に、保育のねらいや考え方が書かれた「保育の考え方」を会社が作成している。保育の基本マニュアルとなっており、例えば、着脱の項目では、自立・習慣としての確立を重視している。連絡帳の項目では、ねらいを意識した上で記入のポイントが示されている。水遊びや散歩の項目でも、目的・留意点を意識した上で、チェックリストを設けて分かりやすくポイントを整理するなどしている。保育の意味を考えながら実践につなげる内容となっており、これを教科書に職員研修を実施している。</p> <p>保育の手順書は職員全員が所持しており、いつでも確認・振り返りができている</p> <p>保育士が常に所持している手順書である「保育BOOK」に基づいて、保育士間で話し合いをして確認・振り返りをしている。例えば、午睡のあり方や異年齢児保育の進め方などを取り上げて、様々な意見を活発に交換している。課題を明らかにしながら、改善を目指した取り組みを進めている。職員が積極的に提案ができる職場環境が作られており、より良い保育につなげるために職員の意識を高めている。また、手順書ではNGな言葉かけなど、状況に応じた適切な対応も示されている。</p> <p>クラスミーティングや年度末の振り返りシートで業務を振り返り、見直している</p> <p>クラスミーティング、乳児・幼児ミーティング、職員会議など、様々な場で職員が意見交換をしている。職員が前向きに、新たな取り組みをしている。話し合いの中で積み重ねてきたことを大切に、意見を書き留めており、保育の水準が保てるように励んでいる。年度末に向けて、「保育の考え方」や「保育BOOK」についての意見を出し合い、必要な見直しをしている。また、職員各自も振り返りシートで1年を振り返り、意識向上につなげている。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

		サブカテゴリ-4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	35 / 35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている			
		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当	
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当	
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当	
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当	
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	○非該当	
評価項目1の講評			
<p>子ども一人ひとりの全体的な姿を把握し、より良い保育に取り組んでいる</p> <p>入園前の子どもの状況は保護者との入園前面談、児童票などの書類、嘱託医の健康診断などで把握している。入園後は、送迎時の保護者との会話や連絡帳などで生活環境を把握し、子どもの姿を全体的に捉えるようにしている。職員全員が日々最新の子どもの個別状況を確認している。担当保育士は複数の保育士の意見を取り入れながら、子ども一人ひとりの個別指導計画を作成し、それを基に保育を行い、月末に評価反省をして記録している。子どもや家庭の全体像、個別の保育の進め方などを職員で共有し、より良い保育ができるよう取り組んでいる。</p> <p>子ども同士が年齢や文化、特性などを認め合い、自然に関われるよう配慮している</p> <p>日常的に異年齢での子ども同士の関わりがある。散歩で外国語による会話を聞いたり、絵本などで外国の文化の違いを知り、東京オリンピックでさまざまな国や旗に興味を示している。5歳児は運動会前に自分の作りたい旗を作り、同じ色や形が似ていても意味が違う国が多いことに驚いている。SDGsの取り組みでも外国の出来事に触れ、子どもの「もっと知りたい」という気持ちを大切に、世界への興味が広がるよう取り組んでいる。配慮が必要な子どもの保育は区の巡回指導で助言を受け、一緒に育ち合えるよう指導内容を職員間で共有している。</p> <p>小学校への円滑な接続に向けた取り組みを行っている</p> <p>園長は保幼小連絡会議に出席し、保育園の5歳児の様子を伝えたり、小学校1年生の授業の様子を映像で見ても保育の参考にしている。例年、小学校の秋祭りに参加させてもらい、小学生と交流して就学に向けての不安を軽減できるよう取り組んでいるが、コロナ禍で交流ができていない。運動会は隣接する小学校の体育館を借りて行い、日々の戸外活動でもグラウンドを使うなど身近な存在になっている。5歳児は就学に向けて9月から徐々に午睡をなくし、生活リズムを整えている。5歳児一人ひとりの保育所児童保育要録を作成し、就学先の各小学校に届けている。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>登降園時に保護者との会話や連絡帳などで家庭や園の様子を互いに伝え合っている</p> <p>登園時は入室前に検温を行い、各保育室で子どもの健康観察をしながら、家庭での様子や体調などを保護者と会話して確認し、手洗い後に受け入れている。早朝保育の子どもの様子や保護者からの連絡事項は各クラスの視診表に記録して担任保育士や事務室に伝え、職員間で共有して一日の保育に反映させている。降園時は保護者一人ひとりに声をかけ、連絡帳や口頭で子どもの様子を伝えている。3～5歳児は一日の活動の様子を記載したスケッチブックを玄関に置いて伝えている。壁新聞や写真なども子どもの様子を伝えている。</p> <p>子どもの発達に合わせて基本的な生活習慣が身につくよう家庭と連携し援助している</p> <p>食事、排泄、衣服の着脱、身の回りを清潔にすることなど基本的な生活習慣の習得について、連絡帳や送迎時に保護者に話を聞きながら、子ども一人ひとりの発達に合わせて子どもが見通しを持って自分で行動できるよう援助している。食事では食器に手を添えることや持つこと、スプーンや箸の使い方などを伝え、排泄や着替えはきれいになった心地よさを感じられるように声をかけ、次第に自分でできるようになることを意識して援助している。できた時は「できたね」とほめて意欲や自信が持てるようにし、保護者に伝えて共有し、無理なく進めている。</p> <p>休息や睡眠(午睡)は子どもの年齢や生活リズムを考慮して行っている</p> <p>休息や睡眠(午睡)は基本的な長さや時間帯を決めて、入園のしおり「保育園の一日」のページで伝えている。子どもの年齢や生活リズムなどを考慮し、把握した子どもの状況や保護者からの要望に応じて入眠時間や休息時間を調整している。0～2歳児は食事と睡眠のスペースを別にして、各保育室に空気清浄機を設置し、室温や換気など睡眠時の環境に配慮し整えている。園児は簡易ベッドで休息や睡眠を取り、2歳児までの睡眠時間は連絡帳に記載し伝えている。睡眠には個人差があり、ある程度体を休めた子どもは絵本やぬり絵などをして過ごしている。</p>		

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>おもしろいと思う子どもの自主的な遊びを尊重し、意欲や自信が持てるよう援助している</p> <p>「生き生きと遊ぶ子ども、思いやりのある子ども、たくましく丈夫な子ども、自分で考えて行動する子ども」の保育目標を掲げ、保育のねらいや人的環境を含めた環境を考え保育している。各保育室は生活の場面展開も視野に入れた空間が確保され、遊具棚やカーペットでコーナーを作り、絵本や図鑑、ブロック、パズル、ままごとの人形やエプロン等を備えている。子どもが好きなものを選んで遊ぶことや主体的に取り組めるよう援助している。保育者は一緒に遊びながら子どもの興味を探り、定期的に環境を変え、さらに発達を促すようにして自主性を育てている。</p> <p>子どもたちは言葉による伝え合いや多様なアクティビティ活動を楽しんでいる</p> <p>日常の会話を保育者も一緒に楽しみ、温かい関わりや言葉のやりとりを通して言葉を交わす楽しさを味わえるように育てている。近隣の図書館から絵本を借りて絵本との出会いを大切に、様々な絵本を提示し読み聞かせを行っている。スポーツやミュージック、イングリッシュ、アートのアクティビティに取り組み、鉄棒やマット遊び、歌やリズムに合わせた表現遊び、英語での絵本の読み聞かせなど、多様なプログラムで表現活動を楽しみ、5歳児はアートにも参加している。製作活動での子どもの作品や異年齢で製作した作品は「作品展」で発表している。</p> <p>戸外遊びを通じて自然に触れ季節の変化を感じる機会を大切にしている</p> <p>園は都心にあるが、近くには自然豊かな公園などがあり戸外遊びが充実している。園庭には木々がありプランターで朝顔の花を育て、敷地内にある大きな石の水たまりにカエルが住んでいるのを時々見つけて喜んでいる。使用可能な小学校のグラウンドが隣接しており、走り回ったりドッチボールをしたり、しっぽ取り、氷鬼などをして遊んでいる。散歩に出かけて春は桜を見たり虫探しをし、秋にはどんぐりや落ち葉を拾いイチョウ並木を散策するなど、四季の草花や木々の様子、空や雲、風が吹く様子を見たり聞いたりして自然に触れ、季節の変化を感じている。</p>		
4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>子どもたちが季節を感じ、日本の文化を知る機会を大切に行事を行っている</p> <p>各行事は担当者を中心に企画し、行事計画書を作成している。誕生会はクラスごとに行い、1歳児では主役の誕生児が前に出ると、周りの子どもは「おめでとう」と拍手をしてお祝いし、出し物のペープサートを見て楽しんでいる。夏祭りは子どもたちで浴衣や甚平を着て楽しみ、2歳児はスイカの提灯を作っている。運動会は3～5歳児で保護者参加で行い、親子競技や4、5歳合同リレーを楽しんでいる。そのほか、子どもの日にこいのぼりの絵本を読んで由来を話し、七夕には笹飾りを笹竹に飾って、子どもが季節を感じ日本の文化を知る機会として行っている。</p> <p>子どもたちは準備から参加し、職員と協力して行事に取り組んでいる</p> <p>夏祭りで5歳児は、自分たちがリーダーだと自覚して意欲的に盆踊りを踊って見せたり、ゲームコーナーの装飾を手伝うなどをしている。今年の作品展のテーマは「森」と「海」とし、3歳児は魚やタコ、イカなどを4月から製作し、4歳児は様々な素材や技法を用いて製作し、張り子製作では単純作業ながらも慎重さと集中力を切らさずやり遂げている。5歳児は「森」のテーマで木の幹を担当し、話し合いながらイメージを膨らませ、廃材でトンボやはちなどを作って各クラスの葉っぱを引き立たせて完成させている。異年齢での協同製作にも取り組んでいる。</p> <p>保護者には年度初めに年間行事予定表を配付し、参加しやすいように配慮している</p> <p>年度初めに保護者に年間行事予定表を配付し、保護者参加の行事は入園式、運動会、作品展、発表会、卒園式などがある。夕方や土曜日に実施し、日程は園だよりなどで知らせて保護者が参加しやすいよう配慮している。行事前にはお便りや掲示で興味を持ってもらえるようにし、行事に取り組む子どもの様子を写真で紹介したり、お迎え時に口頭や連絡帳や、3～5歳児のスケッチブックで伝えている。コロナ禍で変更や保護者参加を取りやめているが、利用者調査で「コロナで大変な時期ですが、いろいろ検討してくださっている」という意見も寄せられている。</p>		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている		○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている		○非該当
評価項目5の講評			
<p>子どもが安心して過ごせるよう配慮し、保育を行っている</p> <p>18時16分から20時15分までの2時間延長保育を実施している。現在コロナ禍で、利用者の働き方にも変化が見られ、利用は減少している。お迎えの遅い子どもには延長保育利用時間に応じて1時間利用には補食、2時間利用には夕食を提供している。保育は玄関、事務室に近い3歳児室で行い、子どもたちが安心してくつろいで過ごせるようにしている。子どもの人数が減ってくる頃には子どもが疲れを感じたり何となく寂しさを感じたりする時間でもあり、当番の保育士は子どもの様子に合わせて子どもの気持ちに寄り添い、丁寧な関わりを心がけている。</p> <p>職員間の連携を強化し保護者への連絡事項は確実に伝えるよう努めている</p> <p>子どもの年齢や人数、保育時間帯に応じて適正な職員配置を行い、安全に楽しく過ごせるよう配慮している。いつも安心できる場所や人の存在が子どもの心情を支えているので、職員は日ごろから子どものペースを尊重しながら保育をしている。毎日の昼ミーティングで延長保育を利用する子どもを確認し、視診表に必要な事項を記入している。口頭とともに視診表を活用して引継ぎを丁寧に行い、全職員が共通の認識理解を持つことを心がけ、保護者に伝達漏れがないよう気をつけている。保護者からの伝達事項も視診表の翌日欄に記載し引き継いでいる。</p>			
6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している		○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている		○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している		○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている		○非該当
評価項目6の講評			
<p>季節の旬な食材を取り入れ、薄味の給食を提供している</p> <p>区統一の献立による給食を提供し、行事食は園独自のメニューで調理している。献立は季節の旬な食材を取り入れ、出汁はかつお節や煮干し、鶏ガラなどで取り、食材の味が感じられる薄味の給食を提供している。郷土食や行事食も提供し、子どもたちは子どもの日にこいのぼりカレーや、七夕に七夕麺などを食べて、大きくなったことや季節を感じている。栄養士は各クラスを周り子どもの食べ具合を把握し、毎月実施する給食会議で、食材の大きさや硬さ、味付けなどを振り返り、噛む力を育て食材の幅を広げて、さまざまな味覚が経験できるように取り組んでいる。</p> <p>食物アレルギーや離乳食への対応は個別に配慮し提供している</p> <p>食物アレルギーのある子どもには、医師の診断を受け生活管理指導表を提出してもらっている。毎月個別に作成した献立表でアレルギー食材をチェックし、お迎え時に保護者と看護師、担任、栄養士が面談し食材の確認をしている。配膳する時は個別のトレイに名前と除去食品名を書いて複数のチェック体制で確認し、決まった席に座り誤食しないよう気をつけている。離乳食は食事発達の目安表を基に数段階の離乳食を提供し、月齢や体調を考慮し保護者と相談しながら進めている。初めての食材は家庭で試してもらい、何事もないことを確認して園で提供している。</p> <p>子どもが食育活動を楽しみ経験できるように取り組んでいる</p> <p>栄養士と保育士が連携し食育活動を行っている。プランターの雑草や根っこを抜いて土づくりをし、なすやピーマン、スイカなどを栽培し、水やりをしながら生長の様子を観察し収穫している。クッキング活動ではとうもろこしの皮むきをしたり、3歳児は稲荷寿司、4歳児はじゃがいもおやきを作り「今までで一番美味しい」と喜んでいる。5歳児はハロウィンでクッキーを作っている。保育士は食べる前に献立の話をしたり、栄養士は三色食品群や食事のマナーについて話し、食に対する興味関心が高まるよう工夫しており、今後さらに充実させたいと考えている。</p>			

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している		○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている		○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている		○非該当
評価項目7の講評			
<p>健康や安全に関心が持てるよう、子どもの発達に合わせて分かりやすく伝えている</p> <p>子どもたちに安全面、生活習慣、健康管理などについて健康の大切さを知らせている。手洗い場に手洗いの手順をイラストで示した表を貼って手洗いの仕方を伝えたり、「つばをとばさないようにしましょう、おおきなこえでしゃべらない」や「5段階の声の大きさ表」を掲示して、子どもに分かりやすく伝えている。散歩時は歩道の歩き方や信号の見方などの交通ルール、公園やグラウンドなどでの安全な遊び方について話している。看護師は健康教育で2歳児には手洗いや咳、トイレについて話し、4、5歳児には染出しをして歯ブラシの持ち方や磨き方を伝えている。</p> <p>子どもの心身の健康を維持するために、さまざまな機関と連携を図っている</p> <p>食物アレルギーのある子どもや障害の認定を受けている子ども、既往歴のある子どもについては専門機関や保護者と連携を図っている。嘱託医による健康診断は0歳児は月2回、1、2歳児は月1回、3～5歳児は年2回、歯科検診は全園児年2回実施し、身体測定を毎月行っている。そのほか、3～5歳児は尿検査、4、5歳児は目の見え方検査を実施している。健康診断や身体測定の結果は健康カードに記入して保護者に伝えている。職員はアナフィラキシー症状の緊急用キットや自動体外式除細動器(AED)の使い方を園内研修で学び、緊急時に備えている。</p> <p>保健に関する情報を発信し保護者への啓発と予防につなげている</p> <p>看護師は毎月ほけんだよりを発行し、11月号では「口腔機能の病気」や「冬のスキンケア」「鼻水のおはなし」などについて情報を発信している。園内で感染症が発生した場合は、玄関に掲示し口頭でも保護者に伝えている。乳幼児突然死症候群の予防の取り組みとして、入園のしおりに明記し面談時に話している。睡眠時に0歳児は5分、1、2歳児は10分、3～5歳児は30分ごとに呼吸や姿勢などを観察して睡眠チェック表に記録している。心肺蘇生講習会を保護者対象に行うなど、家庭での注意事項を知らせ発生防止を呼びかけている。</p>			
8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている		○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている		○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている		○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している		○非該当
評価項目8の講評			
<p>保護者の就労状況により保育時間の変更がある場合には、柔軟に対応している</p> <p>保護者の子育てや就労など個々の事情に配慮して支援を行っている。急な保育時間変更の申し出にも出来る限り柔軟に対応して、保護者が安心して就労できるよう配慮している。日々の保護者との会話を大切に相談はいつでも受け、担任やそのほかの職員も対応し信頼関係が深まるよう努めている。保護者のちょっとした変化にも気づいて声をかけ、保護者の話に耳を傾けるよう心がけている。職員は会社のこころざし「人と人が心から信頼しあえるつながりが生まれ、ともに成長を分かち合う」を受け止め実現に向けて支援している。</p> <p>保護者同士や職員との関係が深まる取り組みをしている</p> <p>保護者会で懇談の時間を設けて、保護者同士が相談し合うなどの交流を大切にしていたが、今年度の年度初めの保護者会は懇談会を取りやめ、日ごろの保育の様子を動画で紹介している。保育室前には保育指針の「5領域」や「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を掲示し、保育で大切にしている子どもの姿を伝えている。夏祭りや運動会、作品展など保護者参加の行事を実施して、保護者同士や職員との交流を図る良い機会となっていたが、コロナ禍で例年のように実施して交流することができない状況が続いている。</p> <p>ドキュメンテーションを作成し子どもの育ちを共有している</p> <p>保護者と職員で子どもに対する共通認識が得られるよう保育参加や個人面談を行っている。子どもの姿や活動内容は連絡帳や園だよりでも保護者に伝え、クラスだよりや幼児だよりはクラスの取り組みや子どもの心情、意欲が伝わるよう写真と文章で構成され工夫されている。そのほか、子どもが何かに取り組んで成長する場面を捉えて、写真と説明で構成するドキュメンテーションを1週間に1回作成している。0歳児は自由遊び、1歳児は室内遊び、2歳児は粘土遊び、3～5歳児はリズム遊びや異年齢交流などを作成して掲示し、子どもの育ちを共有している。</p>			

9 評価項目9		地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)	
評価		標準項目			
●あり ○なし		1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している		○非該当	
●あり ○なし		2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している		○非該当	
評価項目9の講評					
<p>近隣施設や公共機関を活用して子どもが多様な体験ができるようにしている</p> <p>地域の警察署や消防署の協力を得て交通安全教室や避難訓練を実施している。子どもは警察官から交通ルールや約束を教えてもらい、横断歩道の渡り方について話を聞いた後に実際に渡る経験をしている。また、避難訓練で消防士から火事や地震の話を聞いたり、職員の消火訓練を見ている。コロナ禍前は近隣の幼稚園や小学校との行事を通じた交流が持たれていたが、今年は中止している。4、5歳児はバスで他区にある公園に遠足に出かけ、大型遊具や広場で集団遊びをしている。園はこのような地域の資源を活用した多様な体験で社会性を育んでいる。</p> <p>地域のニーズに合わせながら子育て支援などができるよう考えている</p> <p>子どもたちは地域の資源を活用してさまざまな体験をし、職員以外の人と触れ合う機会を持っている。今年はコロナ禍で活動が制限され、園外の人との交流ができない状況が続いている。近くには系列の保育園や子育て広場がある。今後は連携を強化して地域のニーズを把握し、園の資源を活用して、地域の子育て親子の支援ができるよう取り組みたいと考えている。</p>					

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	4-1-1	事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる
タイトル①	ヒヤリハット報告や安全管理研修の実施など、子どもの安全向上に注力している	
内容①	ヒヤリハット報告や研修など、安全向上に注力している。ヒヤリハット報告はクラスごとに月間集計を作成し、気づきや注意事項を記入している。安全チェックリストに基づく園内点検も毎月実施し、子どもが遊んでいる遊具や周りの子どもの安全確保など36項目にわたって確認している。事故が発生した場合には、その日のうちにクラスミーティングで園長を中心に要因分析と再発防止策を検討し、再発防止に努めている。看護師が中心となって安全管理研修も実施しており、災害時の緊急対応、熱性けいれん、食物アレルギーなどのテーマを取り上げている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている
タイトル②	職員と子どもでSDGsに取り組み、社会の課題や世界の出来事に関心を広げている	
内容②	気候変動や感染症などこれまでになかったような数多くの課題に世界中が直面している。当園では3～5歳児を対象にSDGsに取り組み、「毎日どれくらいのごみがでるの？」というテーマで、3クラス分のゴミを集めみんなで量を確認している。職員は様々な社会の課題とSDGsとのつながりを知り、子どもたちは様々な体験を通して世界の出来事に関心を持っている。訪問調査日にも、「きが(飢餓)と飲み水」のテーマでの取り組みが掲示され、子どもたちは「どうして？」と疑問を持ち、「ご飯を送れないかな?」「残さず食べよう」等を考えている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル③	テーマに沿って様々な素材や教材を使った製作活動を楽しみ、作品展で発表している	
内容③	子どもたちは年間を通して製作活動を楽しみ、個性あふれる作品を作り続けている。幼児期に感じたこと、心に残ったことをのびのびと表現できるよう、保育士は日々の保育や作品展に向けて環境作りを大切にしている。さまざまな素材に触れ感触を楽しみながら作ったり描いている。今年の作品展のテーマは「森」と「海」、5歳児は自分たちで相談しながら「作りたい、作って遊びたい」と主体的に取り組む、3歳児は魚やタコ、イカを作り、4歳児は張り子製作で根気よく作り続け、楽しい時間を共有している。保育士は表現に対する意欲と自信を育てている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	各クラスでは週の遊びの予定を掲示して、週に1度はドキュメンテーションを作成して写真と文章で子どもの発達を保護者に伝えている
	内容	各クラスで週案を作成後、1週間の遊びの予定を記載して玄関先に掲示している。1週間の中から1日を選び、子どもの遊びの様子を3枚ほどの写真と文章で記録し、ねらいと保育の振り返りを明記したドキュメンテーションをクラスごとに掲示している。思考力の芽生え、社会生活とのかかわりなど、子どもの遊びに意味があり、発達段階で経験することの大切さを伝えて、週案で示すねらいと目標をもった遊びをしている。ドキュメンテーションはファイリングされており、保護者はいつでも振りかえって見られるため、子どもの成長の記録ともなっている。
2	タイトル	職員が共通認識を持ち、一体化して保育活動にあたるように、「クレド」を活用した取組みを行っている。
	内容	運営会社の社員として心がけるべきこと、子どもたちに接する場合の対応の仕方、保護者や地域社会との関わり方などについて、24の姿勢を「クレド」としてまとめている。職員は毎年度2回、各項目について5段階の自己評価を実施し、自らの言動などについて振り返っている。さらに、今期の反省、来期の目標も記入し、これをもとに園長は職員面談と人事考課を行っている。職員にクレドを常に意識させることで、職員の共通認識、方向性を統一し、職員が一体化して保育にあたるようにしている。
3	タイトル	職員間のコミュニケーションを重視しており、子どもの状況を細やかに把握することで保護者との信頼関係にもつながっている
	内容	職員間のコミュニケーションを重視して、良好な人間関係づくりに努めている。昼ミーティングには各クラスから代表の職員が参加し、クラスの状況確認や情報共有などを行っている。ミーティングの内容は参加した職員が各クラスで報告するほか、記録を作成して休んでいる職員にも内容をしっかりと周知できるようにしている。主任やリーダーが職員の意見を汲み取り、ミーティングで検討し、園の運営や保育内容に反映させている。情報共有を通じて子どもの状況を細やかに把握することができており、保護者との信頼関係づくりにも役立っている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	苦情相談窓口の周知のために、分かりやすい掲示物を作成したり、保護者会などで説明する機会を増やすなどの工夫に期待したい
	内容	今回の利用者調査では総合的な感想での保護者の満足度が高く、質問項目毎の「はい」の割合も高いなど、全体的に高評価を得ていることが窺われる。しかし、「あなたが困ったときに、職員以外の人(役所や第三者委員など)にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか」の質問に対する「はい」の回答が相対的に低い結果であった。入園面接時などで苦情解決窓口について説明し、園内にも掲示をしているが、改善への取り組みが必要と思われる。分かりやすい掲示物を作成したり、保護者会などで説明する機会を増やすなどの工夫に期待したい。
2	タイトル	子どもの主体性を尊重し、自ら活動する力を引き出す環境整備の一環として、保育室内の収納や玩具の充実などに期待したい
	内容	園では、様々な活動を通して子どもの発見や探求心を把握し、子どもの主体性を尊重して保育している。より子どもが自ら活動する力を引き出す環境整備の一環として、身近な保育室の環境は重要と思われる。現在も、各保育室では生活の場面展開も視野に入れた空間が確保され、遊具棚やカーペットでコーナーを作り、絵本や図鑑、ブロック、パズル、ままごとのエプロン等の玩具を備えているが、今後はさらに、美観を意識した玩具の収納の見直しと安全で質の良い素材の玩具を増やすなど、絵本、図鑑の補修も含めた玩具の充実期待したい。
3	タイトル	職員間で「保育の考え方」について読み合わせをするなど、同文書の有効活用を図っていくことが期待される
	内容	運営会社では、「保育の考え方」という文書を作成しており、そこには保育日誌を書く意味や排せつの考え方、遊びの目的や留意点など基本的な考えやねらいが記載されており、職員が自らの保育を振り返るために活用すると、とても有効であると思われる。しかし、現在は職員間で時間を設けて同文書について読み合わせや確認をするといった機会は設けられておらず、有効に活用されている状況になっていない。同文書を活用することで、保育士として何をしていくのかという分かりやすい指針にもなるため、今後の取り組みが期待される。